関西大学におけるFD活動および授業支援活動に関する説明会

教育推進部 教育開発支援センター
学事局 授業支援グループ

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

以下、スライドに関連するHPや資料のURLのリンクを貼っています。適宜、参照ください。

タイトル右上に参照資料ページ等がある場合には、そちらも併せてご確認ください。

KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

資料一覧

以下、URLより各種資料のダウンロードが可能です

（１）関西大学におけるFD活動および授業支援活動説明資料
www.kansai-u.ac.jp/ctl/2020/03/09/関西大学におけるFD活動授業支援活動説明資料.pdf

（２）ニューズレター　Vol. 29, 30 ,31
www.kansai-u.ac.jp/ctl/activity/newsletter.html

（３）ライティングラボ利用案内
www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/ライティングラボ利用案内.pdf

（４）関大LMSクイック操作ガイド
www.kansai-u.ac.jp/ctl/2016/09/28/クイック操作ガイド.pdf

（５）インフォメーションシステム操作マニュアル（教員用）
www.kansai-u.ac.jp/ctl/teacher/pdf/ForFacultyMembers_Manual_ja_2019.pdf

その他、ライティング支援に関する冊子等
www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/index.html

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

アウトライン

1　教育開発支援センターについて

2　コモンズの紹介

3　ライティングラボの紹介

4　先生方にお願いしたいこと

5　授業支援に関する案内
- 事務体制
- 学年暦、休講・補講
- 欠席届　等
- 関大LMSの使い方

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

1　教育開発支援センターについて

KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

教育推進部

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/tl/

2008年10月に教学組織の改編を行い、教育をさらに充実・発展させていくために教育推進部を設置
教育推進部は、本学の教育活動全体を支援する組織で、共通教養教育の推進、FD・教育開発、学生の教員免許状取得支援などを行う

教育推進部

教育推進委員会

教育推進部長（担当副学長兼任）、教育推進副部長2人、各学部の副学部長等

共通教養教育推進委員会

業務

共通教養科目の編成及び運営等
各学部が行う外国語教育の大綱
推進委員会への建議
推進委員会からの諮問
その他共通教養科目の推進

教育開発支援センター

業務

教育内容・方法の改善の支援及び推進
教育効果の評価方法の開発及び実施
教員の教育力向上の支援及び推進
全学的な教育システムの調査及び開発
教材開発・改善の支援及び推進
授業に関わる相談・改善
授業に関わるスタッフ（TA、SA等）の資質向上支援
教育環境向上のための研究及び調査
教育内容・方法に適した教育施設・設備の立案、管理
大学教育に関する学内外の情報、図書、資料の収集及び分析並びに情報の発信

教職支援センター

業務

教職に関する科目の編成及び担当者
教職課程認定申請手続等
教育実習
介護等体験
教員免許申請
教職に関する科目担当者会議
教員免許状更新講習
教員採用試験等、教員採用に係る就業支援
教職過程に関する教育の改善を図るために必要な企画及び運営
教職課程に関する教育の改善を図るために必要な調査・研究

教務センター（事務組織）

教育推進部長

教育推進部　専任教員４名

Coming Soon

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

教育開発支援センター　：　Center for Teaching and Learning

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/ctl/

■教育開発支援センター長

社会学部　教授

■副センター長

教育推進部　教授

■専門委員（３名）　規程第７条

教育推進部　専任教員2名　文学部　教授

■センター委員会委員（各学部選出委員）13名
規程第10条（３）

■研究員（複数名）　規程第９条

■アドバイザリースタッフ

教育開発支援センター

業務

教育内容・方法の改善の支援及び推進
教育効果の評価方法の開発及び実施
教員の教育力向上の支援及び推進
全学的な教育システムの調査及び開発
教材開発・改善の支援及び推進
授業に関わる相談・改善
授業に関わるスタッフ（TA、SA等）の資質向上支援
教育環境向上のための研究及び調査
教育内容・方法に適した教育施設・設備の立案、管理
大学教育に関する学内外の情報、図書、資料の収集及び分析並びに情報の発信

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

CTLの主な任務

○教育内容・方法の改善、教員の教育力向上、教材開発・改善の支援及び推進

○教育効果の測定・実施

○教育システム・教育環境の調査・開発・研究

○授業相談、スタッフ（TA・LA・SA等）の資質向上支援

KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

教育開発支援センターのプロジェクト

説明資料1～2

①学習環境デザイン・学習支援プロジェクト
　ラーニングコモンズの活用／TA・LAの制度運用／Learning Caféなどの授業外講座の企画

②ICT活用授業の普及プロジェクト
　シンキングツールやICT活用の普及・啓蒙／ICT機器及びサービスの活用コンサルティング

③アクティブ・ラーニングプロジェクト
　2014年度AP事業／Learning Assistantの活用／交渉学

④成果指標検討プロジェクト
　教学IRの推進／コモン・ルーブリックの開発／学びの総合的なサポート

⑤ライティング支援プロジェクト
　文科省大学間連携共同教育推進事業／ライティングラボ／文書表現ワンポイント講座

⑥FD/SD連携プロジェクト
　SD義務化／教職協働／三者協働型SD研修プログラム／

⑦関大LMS活用プロジェクト
　関大LMSの活用促進／活用方法の紹介／LMS問い合わせ対応

○FDフォーラムの開催（年２回）

本学の教職員（非常勤講師含む）だけではなく、
他大学の教職員および一般の方を対象に年２回開催

“授業評価アンケートを展望する－その多様性と可能性－”（第21回）
“大学におけるライティング支援
　－高大接続で考えるライティング力の涵養－”（第22回）

○日常的FD懇話会（不定期・随時）

学内の教職員（非常勤講師含む）を対象に、
学内外の有識者を招いて不定期に開催

“BYOD環境で、授業がどう変わるのか？”（第17回）

○ランチョンセミナー

学内の教職員（非常勤講師含む）を対象に、
CTL教員が講師となって、昼休みを活用したミニセミナーを開催

“ルーブリックの使い方～評価と振り返りを次につなげる～”（第31回）

主な活動

○学生による授業アンケート（各学期）

全科目を対象にWEB方式にて実施
結果は、インフォメーションシステム（学内ポータル）にて返却
担任者で項目間のクロス集計や学部平均値との比較等が可能

○研究紀要「関西大学高等教育研究」発行

毎年３月末発行
高等教育研究にかかわる論文を募集

○広報（ニューズレター年３回）

その時々の活動やトピックスをタイムリーに掲載
講師控え室にて置き配付

○各種研究・開発・支援事業

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

教育支援ツールの紹介

○モバイルPCカート

タブレットPC25台を収納したカート
Wifi環境を利用して、グループワーク等に活用

○関大LMS

予習・復習、課題レポート、各種テスト、授業に関する質問受付・回答など補完できるシステム

○BYODの推奨

2019年度入学生よりBYOD(Bring Your Own Device）の推奨

その他の教育支援ツールなど
www.kansai-u.ac.jp/ctl/teacher/tool.html

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

BYODの推奨

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/byod/

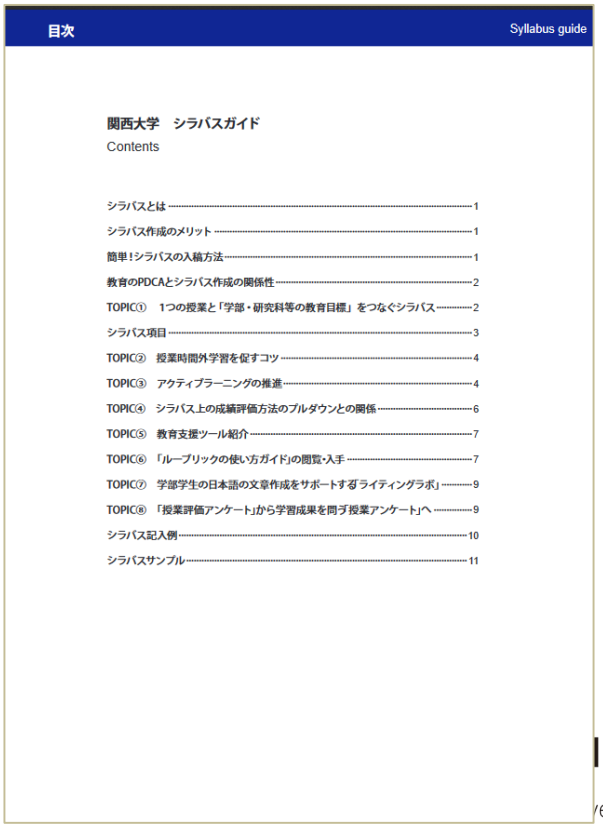
- 2019年度４月入学以降の新入生が対象
- BYOD対応型の授業の展開が可能に
- 教育に積極的に活用ください

SAI UNIVERSITY
University. All Rights Reserved.

シラバスガイドの公開（2020年度～）

・科目ごとに「学部・研究科等が定める教育目標」を明示
・「学部・研究科等の教育目標」と担任する科目の関係性を示すことで、教育課程（カリキュラム）を通じて育成すべき学力、資質能力を可視化

○シラバスガイド www.kansai-u.ac.jp/ctl/activity/pdf/syllabusguide.pdf



I UNIVERSITY
versity. All Rights Reserved.

2　コモンズの紹介

KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

学習環境「コモンズ」

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/lc/index.html

総合図書館 ラーニング・コモンズ

総合図書館 ラーニング・コモンズ 3つのポイント

- ●ワーキング・エリアでプレゼン練習
- ●ラーニング・エリアでミーティング
- ●グループ学習でレポート作成

詳細はこちら

凜風館 コラボレーションコモンズ

凜風館 コラボレーションコモンズ 3つのポイント

- ●グローバルエリアで留学生と異文化交流
- ●リラックスした環境でミーティング
- ●目的に特化したさまざまなエリア

詳細はこちら

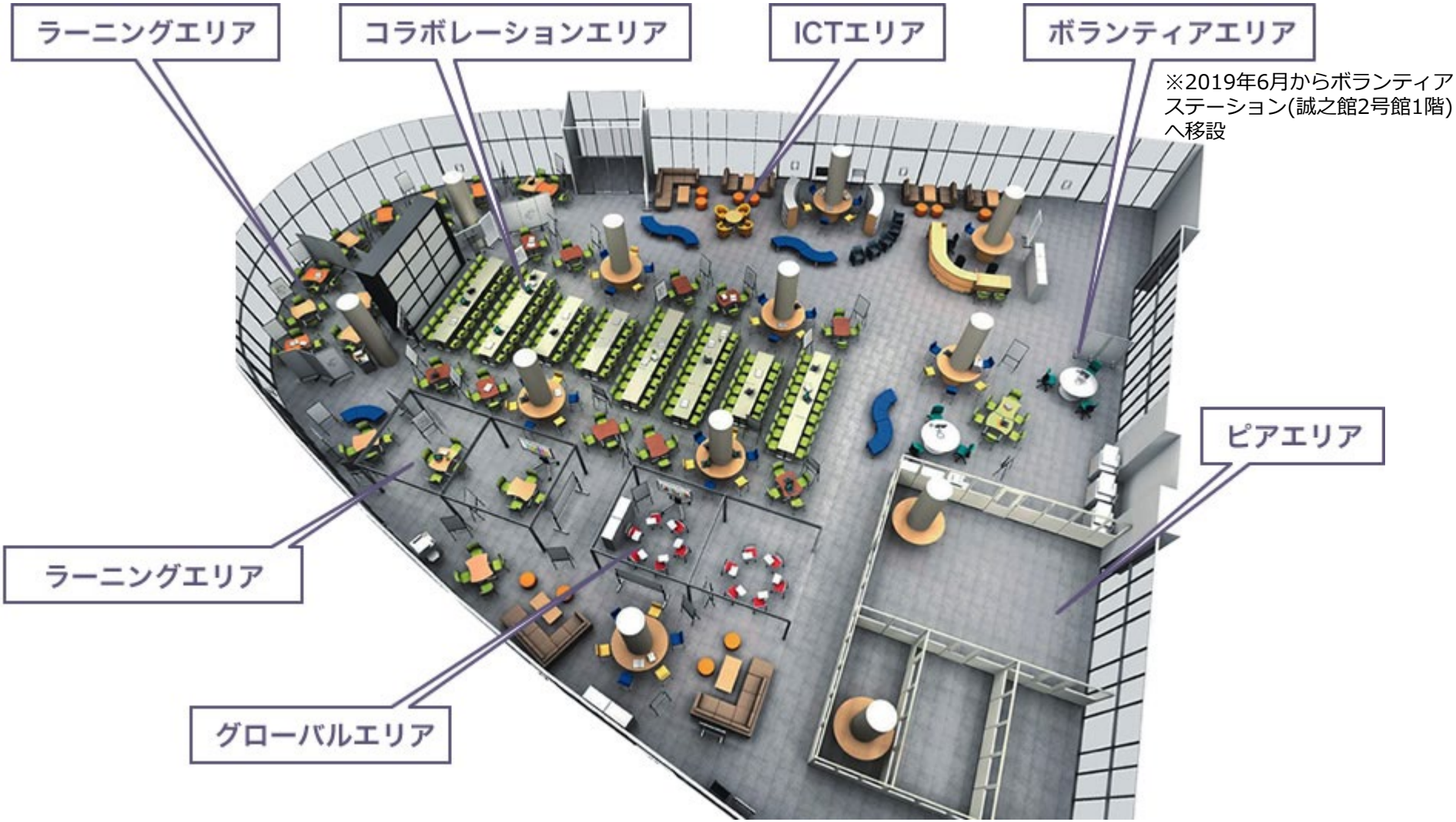
ITセンター サテライトステーション

2019年１月
耐震改修のため
閉室

※2019年1月、ITセンター サテライトステーションは耐震改修に伴い閉室しました。

NIVERSITY
ity. All Rights Reserved.

コラボレーションコモンズ



KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

Collaboration Commons
LinCom
Collaboration Commons
LinCom
総合学生会館　メディアパーク
凜風館

コラボレーションコモンズ

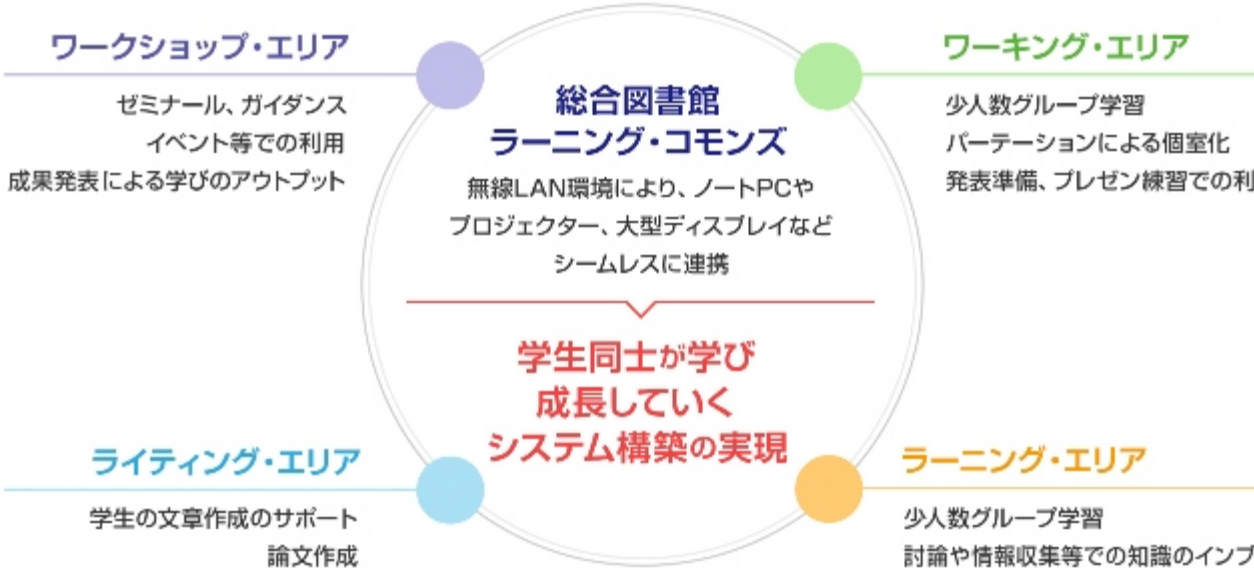
TY
ved.

KU
コンシェルジュカウンター
ライティングラボ
【お知らせ】
本日は授業期間外のため、
コンシェルジュカウンターの受付は
9:00～16:45となります。
貸出備品の使用時間は
16:30までとなります。
PC Mac スマホからのインターネットへの接続方法を、カウンター横のホワイトボード(右端)に掲示しています。

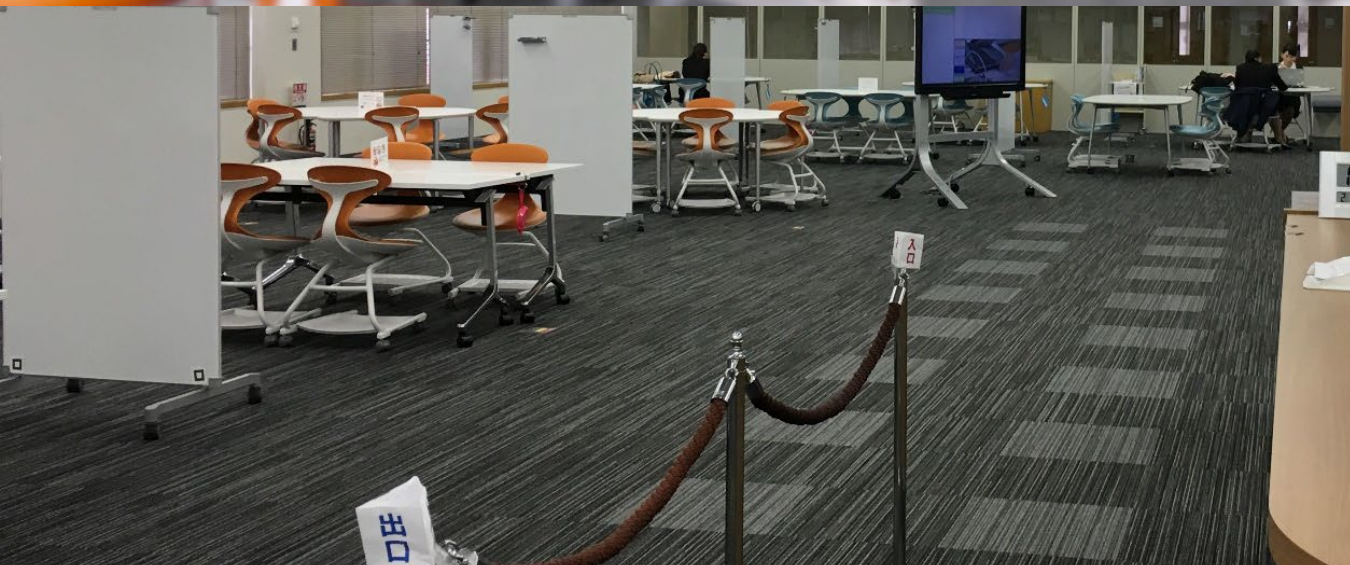
図書館ラーニングコモンズ

総合図書館に
ラーニングコモンズ

機能別にエリア分け



ラーニングエリア



ワーキング・エリア

TY
ved.

3　ライティングラボの紹介

KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

ライティングラボ

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/

ライティングラボは、
学生の皆さんのライティング(文章作成)を
サポートする施設です。
レポート・論文をはじめ、
さまざまな文章作成のお手伝いをします。

ライティングラボのことを
よく知らない人は
まずここをクリック

はじめての方へ

千里山キャンパス
（４カ所）に加えて、
高槻・高槻ミューズ・
堺キャンパスにも開室

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

ライティングラボ

・授業期間中に開設、事前予約制、１セッション40分
・文系だけではなく、理工系ライティングも指導
・オンラインによるチュータリングも実施

ライティング（文書作成）をサポートする全学的な施設

授業のレポートだけではなく、大学院入試の願書、留学志望動機書など大学全般のライティングをサポート

大学院生のチューターが会話をしながら、つまずいている箇所をみつけて一緒に考えながら改善

ひとりでもグループでも自分の都合のよい時間に利用できる

文書完成後、作成途中などあらゆる段階で相談を受けることができる

「添削」はしません。ラボは、文書作成のプロセスや自身の文書の問題点をみつけること、解決を策を一緒に考えるところです。

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

ライティングの特徴

①　授業との連携

・レポートの書き方などの出張講義、利用ガイダンスなどを実施
・授業を受ける　⇔　ラボでの支援　を毎回行うといった授業連携
・ラボの「利用証明書」を添付してレポート提出といった事例もあり

②　アカデミックスキル　ワンポイント講座

・大学で学ぶうえで重要な知識、スキルを身につけるための講座
・昼休みの時間など授業時間外で開催
・予約不要、誰でも参加可能
・レポートコース、卒論コース、スタディスキルコースに分けて実施
・ラボの教員が講座形式で指導

各先生方へのお願い：
受講生へのラボ利用、各講座の案内をお願いします
また授業連携のご希望があればお知らせください

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

ライティングに役立つ資料

・ライティングラボHPに各資料掲載（**「関大　ライティングラボ」**で検索）
・授業等で配付するなど積極的に活用ください
・下記URLより詳細を確認できます

①　ライティングに関するeラーニング

www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/pdf/index/e-learning.pdf

・レポート、卒論作成に必須スキルを動画で学習（関大LMS）
・レッスン動画（4-８分）、理解度クイズ（2-3問）で構成

②　レポートの書き方ガイド

www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/report.html

・入門編、基礎編、発展編の３編を無料配付（現在３編を１編に編集中）
・配付だけではなくPDF版で公開

③　学びの方向性と達成度を判断する評価ツール（ルーブリック）

www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/useful/rubric.html

・論文作成、期末レポートなどタイプ別のルーブリック
・全７種のルーブリックを作成、公開

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

ライティングラボ年間活用状況（2018年度）

1　ライティングラボ

利用者数　：　814件

出前講義・イベント等　：　約45件

2　ワンポイント講座

開催件数　：　約30件

参加者数　：　420人（春学期）

86人（秋学期）

計　506人（年　間）

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

４　先生方にお願いしたいこと

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

先生方にお願いしたいこと

1 CTL主催の各種行事への参加

・FDフォーラム、日常的FD懇話会、ランチョンセミナー等

2 授業アンケートの実施

・各学期に実施、2020年よりリニューアル
・WEB方式による実施、結果を即応的に返却
・実施時期には、実施手順など一式をお届けします

3 TA/LA、授業支援SAの活用

・TA：授業の内容の各論に踏み込んで、学習者支援
・LA：学びのモデルとして学習者支援
・授業支援SA：授業前後の学修環境整備

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

先生方にお願いしたいこと

4 「高等教育研究」への投稿

・年1回（年度末）発行の紀要への投稿

5 CTLニューズレターの確認

・年３回発行のニューズレターをHP、講師控え室より配付
（最新の情報を発信していますので、ぜひお読みください）

6 各コンテンツ・学習環境の活用

・ツール、コモンズ、ライティングラボ等の積極的活用

自己の教育力、教授力向上の直接的なサポート機関として
“すべての先生方に寄り添うCTL“を活用いただきたい

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

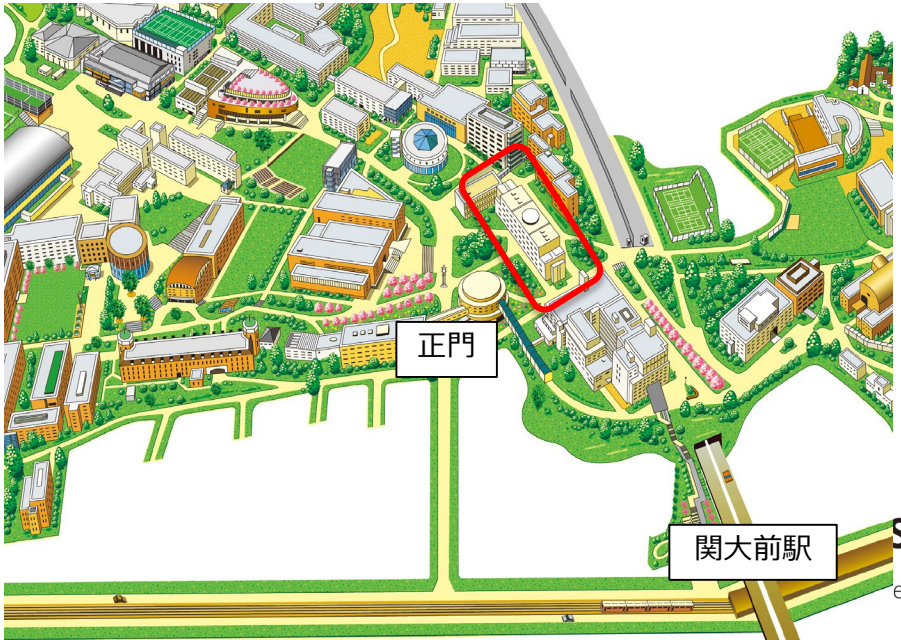
5　授業支援に関する案内

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

①教務センター（第２学舎１号館１階）

- 学部ごとに行っていた諸手続きを教務センターが全学部・全研究科を対象に一元的に対応
- 時間割、試験、学籍、授業支援、庶務の窓口
- 定期試験、成績評価、次年度の時間割、住所変更などすべてワンストップ対応

※千里山キャンパス以外は
それぞれのオフィスが対応



SITY
eserved.

②授業支援ステーション（各学舎）

・授業の質的向上を目的とし、各学舎に授業支援ステーションを設置（職員と授業支援SA(学生スタッフ）が常駐）

・**授業支援SA**　：　担任者が授業運営において行わねばならない軽微な用務を補助したり、担任者単独では負担になる業務について補助を行う本学の学生　（原則自分の所属する学舎では勤務しない）

【千里山キャンパス】

・第１学舎：法、文、政策創造、外国語
・第２学舎：経済、商
・第３学舎：社会
・第４学舎：理工系３学部
・尚文館　：大学院

(2)　授業支援業務の依頼について

説明資料５～７

①授業時配付資料の印刷

・窓口受付（１週間前）、Web印刷依頼（操作マニュアル23ページ）
・カラー印刷不可　→　関大LMS等にUPを

②プロジェクタ、PC等の貸出、設置依頼、操作説明

・各ステーション、講師控え室で機器の貸し出し
・機器常設の教室は、初回の操作説明

③カードリーダーによる出欠調査

・授業支援SAが授業中に教室へ行き、出欠調査
・受講生と授業支援SA間でトラブルが起こりやすい場面のため受講生に明確な指示等をお願いします（説明資料7）
・ミニッツペーパー持込による整理（学籍番号順ソート）

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

④平常レポートの回収、整理

・回収ボックスの設置、提出者チェック
・関大LMS（後ほど説明）でもレポート管理が可能

⑤授業時に実施する平常試験の監督補助

・担任者以外の監督が必要な場合の監督補助（配付と回収）
・担任者不在の試験実施は不可

⑥その他

・教育や授業の効果を高め、質的な向上につながる支援
・CTL事務局と授業支援グループは同じ事務組織であり、その強みを生かした支援

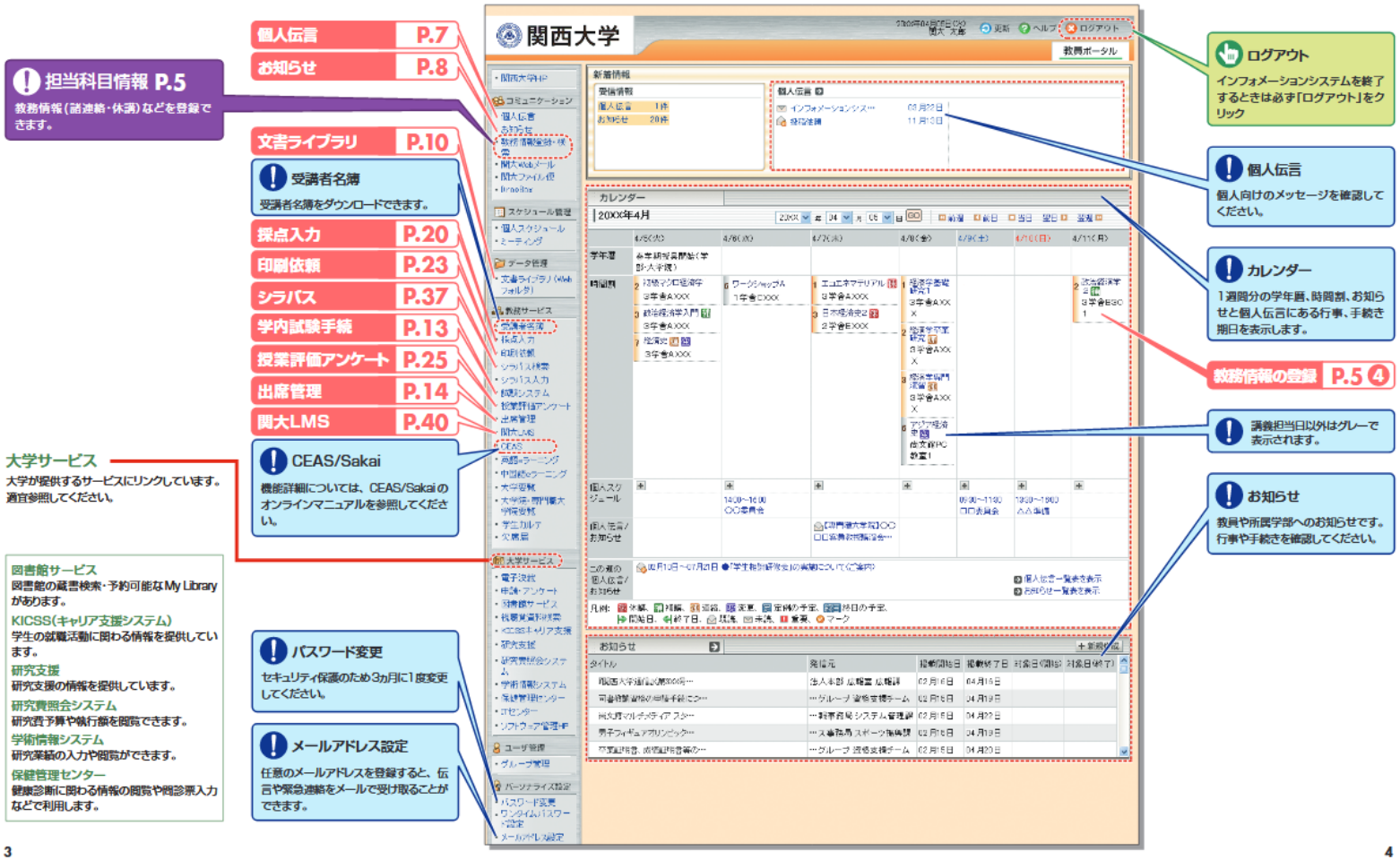
KANSAI UNIVERSITY
Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

(3-1)　インフォメーションシステムについて

操作マニュアル3～4

- 教職員・学生が利用する各システムの総称”ポータルサイト”
- 大学からの連絡、印刷依頼、出欠管理、採点入力、授業評価アンケート、シラバスシステム　など

5.トップページ



RSITY
Reserved.

(3-2)　休講と講義連絡の登録について

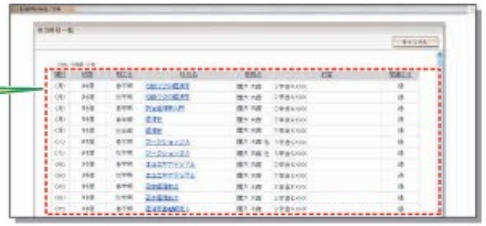
操作マニュアル５～６

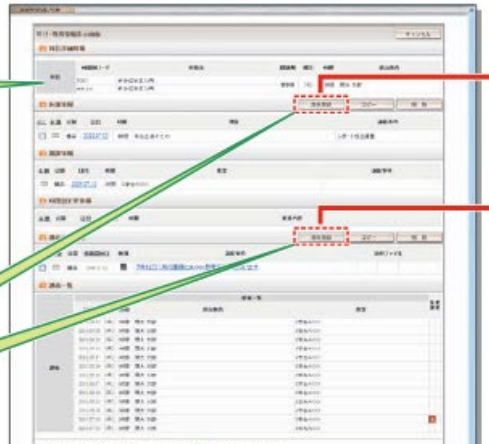
・前日までの休講は登録可能
・当日の休講は電話連絡をお願いします（説明資料８）

6. 教務情報の閲覧・登録

受講生全員への講義連絡、休講の登録や補講、時間割変更情報を確認できます。

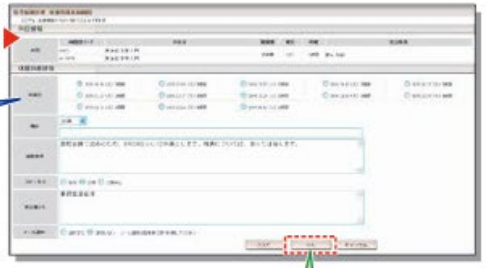
補講や教室変更を希望される場合は、教室確認をするため各学舎にある授業支援ステーション・各キャンパス窓口にご相談ください。





当日の休講

当日の休講は登録できません。
その場合は裏表紙にある当該窓口へ連絡してください。



※科目ごとに登録をお願いします

※「講義連絡」とは受講生全員に一斉連絡する機能です

(3-3)　個人伝言の登録について

操作マニュアル７～８

・個人伝言は、学生個人宛に連絡する機能
・複数名宛に送付することも可能

7.個人伝言の閲覧・登録

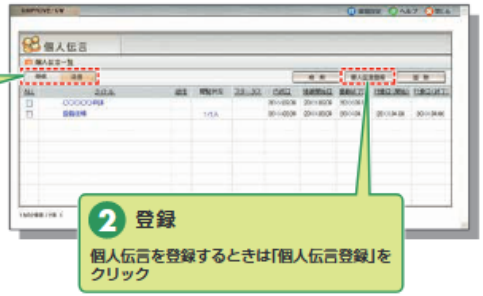
学生・他の教員・職員など個人へ伝言を送信できます。

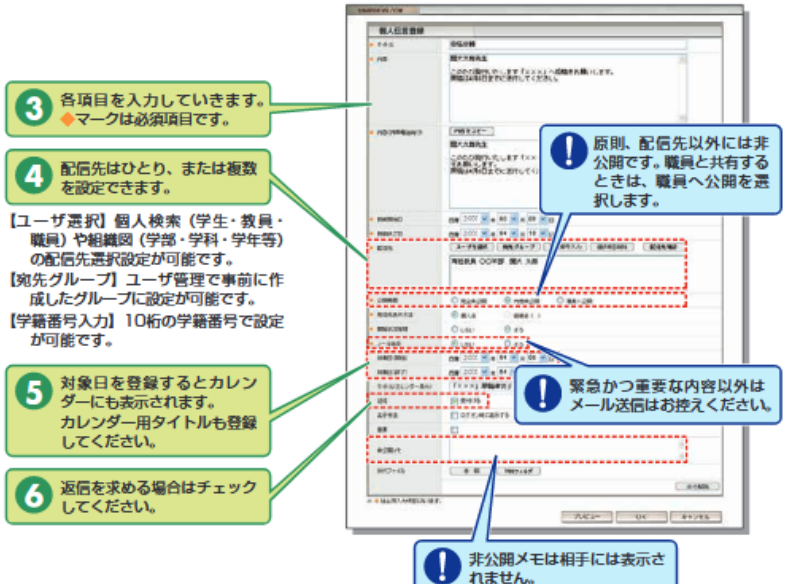
同時に複数の者に送信することも可能です。

同じ対象者へ送信することが多いときは、宛先グループを作成しておくと便利です(P.12参照)。

委員会やプロジェクト等で利用する際にも、グループを作成して、お知らせで送信することをお勧めします。グループでは、文書管理、スケジュールの共有ができます(P.10参照)。

学部・部署単位に案内するときには、お知らせで送信します(P.8参照)。





(3-4)　採点入力について

操作マニュアル20～22

- 当該科目の最終素点を入力するシステム
- 担当：教務事務グループ　各学部の採点担当

注意 点数入力中に保存・完了等の操作を約60分行わないと、自動的にログアウトしてしまいます。こまめに保存してください。

13-2
成績入力

過年科目履修生がいる場合はこちらをご確認ください。

不受験
成績評価方法が「到達度の確認」、「単試試験」、「論文」の場合の不受験者(未提出者)にチェックしてください(「***」が入力されます)。
「平常点科目」の場合は、不受験欄が表示されません。

休学者および退学者は「学籍異動者」と表示され成績を入力することはできません。

重要!!
一旦採点完了した成績は、セキュリティの確保のため、Web上では修正することはできません。変更する場合は、教務センター・各キャンパス窓口で、成績変更の手続きを行ってください。

13-3
成績データファイル

Excel形式の採点用ファイルで成績データを入力できます(所定のファイル以外では使用できません)。

※ 平常点科目の場合は不受験値をアップロードできません。
※ 学籍異動者(休学・退学等)は「成績」列に「***」を入力してください。

成績データ反映[簡易版]
略式形式でのデータ反映が可能です。

13-4
成績表の更新

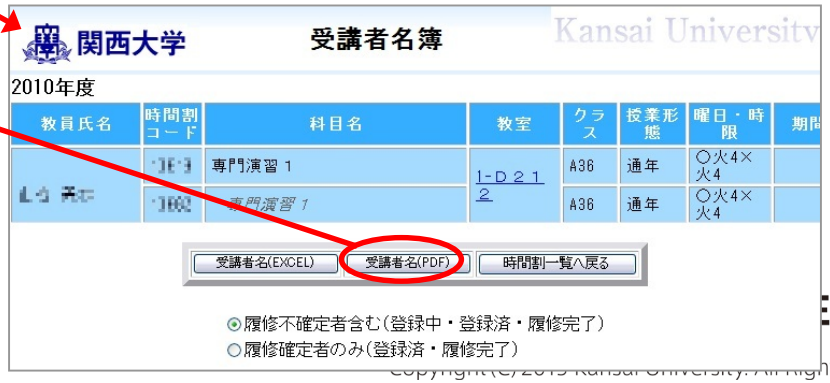
保存中の成績は修正が可能です。「完了」ボタンを押すことによって成績が確定します。

TY
erved.

(4)　受講者名簿について

説明資料９

- 春学期４月下旬、秋学期10月下旬にダウンロード可能
- 正確な日程は「お知らせ」や講師控室の掲示等で通知



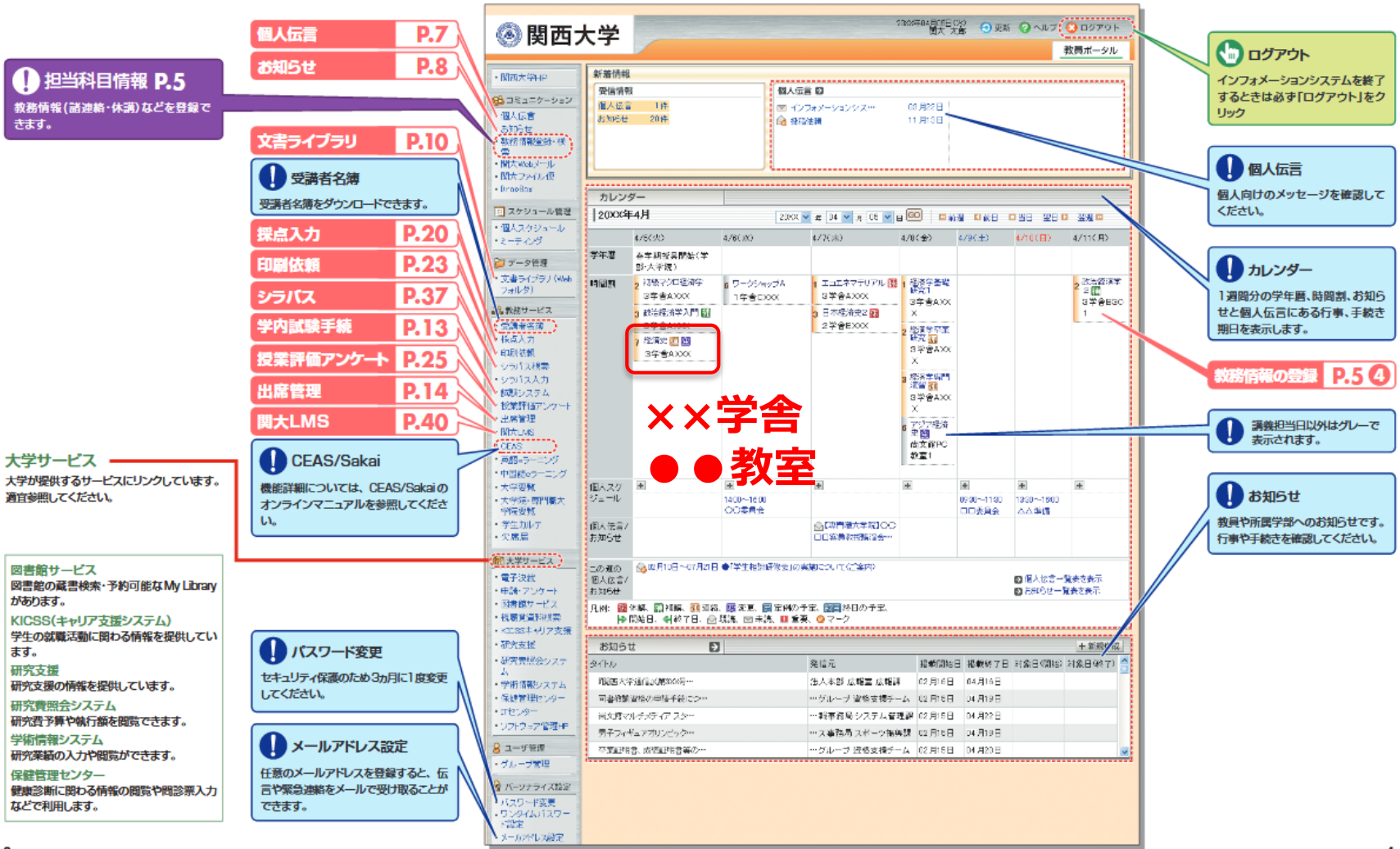
Copyright (c) 2013 Kansai University. All rights Reserved.

(5)　教室の確認について

説明資料10

・インフォメーションシステム「トップ」に表示
・履修確定までは履修者数増減から「教室変更」の可能性あり

5.トップページ



TY
rved.

(6)　学年暦について

説明資料11～14

① 「学部・大学院」学年暦
② 「専門職大学院」学年暦
　の２種がある

【祝日が授業日等となる日】

・春学期

４月29日（水）、７月23日（木）（補講日）、
７月24日（金）（定期試験）、

・秋学期

９月21日（月）、９月22日（火）、
11月23日（月）

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

(7)　補講の手続きについて

説明資料16

・補講は補講日、土曜日または平日の６・７限に実施
・受講生との調整が会えば、その他の曜限も可能

①授業支援ステーションに補講の申し出

・日時、教室の調整
・他科目との重複者の確認
※重複者については不利益とならないよう配慮願います

②補講の登録

・登録は授業支援ステーションの職員が行います
・登録後は、インフォメーションシステムで受講生に周知
・補講までに授業がある場合は授業中に周知をお願いします

③補講の実施

・登録された日時、教室で補講を実施

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

(8)　欠席届について

説明資料17～20

・授業に欠席した事実を示すだけのもの（事後報告）
・公欠ではなく、配慮の有無については、担任者の判断となる
・長期の入院などの場合は、事前連絡することもある

【ご参考】学生の動き

①欠席届の発行手続き（学生→授業支援）

・授業を欠席した10日以内に証明書類を持参し、各学舎窓口にて「欠席届」の記入

②記入内容の確認（授業支援→学生）

・証明書類等を確認を行い、受付印を押印し欠席届を発行

③欠席届の提出（学生→担任者）

・欠席届を担任者に提出し、欠席理由を詳細に説明

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

(9)　授業アンケートについて

- 第14回、第15回目の授業時に実施
- 2020年度よりWEB方式にて実施
- 実施時期に講師控え室にて手順書、自由記述用紙等を配付

2020年度からの主な変更点

授業アンケートに関して、2020年度からの主な変更点は以下になります。従来のマークシート方式からWEB方式に回答方法が変更となり、より見やすくなりました。ぜひ積極的にご活用をいただければ幸いです。

変更点1　スマートフォンなどWEB方式で回答

従来のマークシート方式からWEB方式に回答方法が変更となりました。

①QRコード付きの自由記述用紙を配付

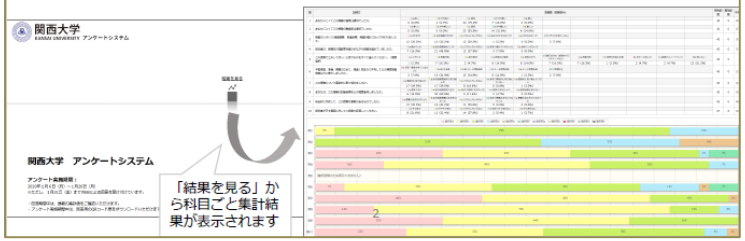
②受講生はQRコードを読み取り回答
自由記述は用紙に記入し回収

変更点2　アンケート項目の見直し

担任者のパフォーマンスを問う質問に加え、受講生の学習状況を問う質問を追加しました。また、担任者、受講生の負担軽減を図るため、質問を10項目としました。

変更点3　アンケート実施後に即時集計結果をフィードバック

アンケート実施後、すぐにインフォメーションシステム「授業アンケート」から集計結果が閲覧できます。科目ごとの集計結果、項目ごとのクロス集計に加え、科目比較、年度ごとの比較も可能となりました。各機能は担任者で操作できますので、ぜひご活用ください。



Ⅰ　概要

1　目　的

本アンケートは、より質の高い教育を行うために直接受講生の声を聞き、授業に反映、また改善していくことを目的としています。また、受講生の学習態度や到達目標の達成度を担任者が把握し、授業をより一層充実させるための資料として活用するものです。

2　実施期間

第14～15回目の授業時に実施　2020年７月９日（木）～７月22日（水）

アンケート用紙は、第13回（7月２日）から順次担当者に送付します。なお、回答は７月31日（金）まで可能です。

3　手　順

（１）　アンケート用紙の受け取り

専任教育職員はメールボックス、非常勤講師は教員控室にてアンケート用紙（自由記述用紙）をお受け取りください。

（２）　学生によるアンケートへの回答

アンケート用紙を用いて、QRコードを読み取り受講生をアンケート回答フォームに誘導します。
自由記述は用紙に記入させ、担任者が回収し授業改善等に活用してください。

（３）　アンケートへ結果の確認

アンケート実施後、インフォメーションシステム「授業アンケート」から結果が確認できます。
全学集計が確定しましたら、全学平均との比較やクロス集計などを担任者の手元で確認することができます。

3

ERSITY
ghts Reserved.

(10)　学生相談・支援センターについて

関連HP　www.kansai-u.ac.jp/sscc/

- 障がいのある学生に対する修学支援の窓口
- 専門のコーディネーターを配置し関係部署との連絡調整
- 学生の本人の申し出により、センターを通じて配慮等のお願いをすることがある

SAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

（11） 自然災害発生時の休講等の取り扱いについて 説明資料21～22

・配付資料28に基づき、学生含め各自で休業の判断を行う
・原則、大学ＨＰ等でお知らせします
・取り扱い（詳細）：www.kansai-u.ac.jp/mt/archives/2019/10/post_4317.html

留意点

①暴風警報または特別警報の範囲

「大阪府の市町村のいずれか」に発令した場合

②休業に伴う補講・試験等の措置

別途、ｲﾝﾌｫｰﾒｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ等でお知らせします

③「取り扱い」に関わらない休業等

学長判断による休業があります
（2019年：キャンパス周辺での重大事件発生）
（2018年：西日本豪雨、大阪北部地震）

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

(12)　関大LMSについて

配付資料23～24

・予習・復習、課題レポート、各種テスト、授業に関する質問受付・回答など出来る学習支援システム

17.関大LMSを利用する

関大LMSは、予習・復習、課題レポート、各種テスト、授業に関する質問受付・回答などの授業を補完できる授業支援システムです。
ここでは、一部の機能の簡単な利用方法のみを説明しますが、「コース管理者マニュアル」には、より詳細な操作方法や他の機能の利用方法を掲載しています。

17-1-1

利用開始：ログイン

1 関西大学ホームページのトップページから左側メニューの「関大LMS」を選択するか、インフォメーションシステム内の左側メニューの「関大LMS」を選択し、ログイン画面を表示または、以下のURLにアクセス

https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/

2 ログインボタンをクリック

3 IDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリック

4 「コースリスト」画面に入る。授業名をクリックするとその授業の教材一覧に入る。

5 教員のマニュアルをダウンロードする場合は「コースリスト」画面左上の「マニュアル」内「コース管理者マニュアル」をクリック

ログインID：インフォメーションシステムにログインする際のIDと同じです。
例：t999999
パスワード：インフォメーションシステムにログインする際のパスワードと同じです。

17-1-2

教材一覧の構成

ユーザとして認証されると、「教材一覧」が表示されます。

【（お知らせ・メッセージ）】事務や教務に関する連絡事項や注意事項が表示されます。
【教材】教材を作成したり、教材一覧やタイムラインを確認したりすることができます。
【成績】授業の成績やアンケート結果を確認したり、レポートを採点したりできます。
【出席】出席をとったり、今までの出席状況を確認し、変更したりできます。
【その他】学習カルテ、FAQ／用語集、ノートがあります。
・【学習カルテ】コースメンバーの学習記録を残し、一元管理することができます。
・【FAQ／用語集】よくある質問とその回答や、授業のテーマを理解する上で必要な用語をまとめることができます。
・【ノート】授業のメモをテキストデータで約50KBまで残すことができます。
【メンバー】コースメンバーの登録やグループ分け、コースメンバーのアクセス状況を確認することができます。
【コース管理】開講情報に時間割やシラバス、コースIDやコースURLが表示され、コースオプションや試験モードの設定、利用状況集計の確認を行うことができます。
【学生としてログインする】学生モードに切り替わり、学生にどのように表示されているか確認することができます。
【タイムライン】先生が教材作成や投稿すると、学生が取り掛からなければいけない教材などを時系列で通知します。

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.

お問い合わせ先

本資料に関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

◆FDや学習支援に関すること
教育開発支援センター事務局
TEL:06-6368-0230
e-mail: ctl-staff@ml.kandai.jp

◆授業支援や各種手続きに関すること
授業支援ステーション
TEL:06-6368-0234
e-mail: k-jyugyo@ml.kandai.jp

KANSAI UNIVERSITY

Copyright (C) 2013 Kansai University. All Rights Reserved.